

主論文の要旨

Identification of periodontal bacteria from carotid artery plaque in chronic periodontitis patients. (慢性歯周炎患者における頸動脈狭窄部位からの歯周病原菌同定)

東京女子医科大学歯科口腔外科学教室

(主任：安藤智博 教授)

守田 誠吾

J Oral Maxillofac Surg Med Pathol (2013)

DOI : 10.1016/j.ajoms.2013.05.001

【要 旨】

多くの疫学的な研究により歯周病の罹患とアテローム性動脈硬化症の病態との間に関係があると報告がされている。その機序としては歯周病原菌が直接局所に定着する機序と炎症やマクロファージに起因する機序があり動脈硬化部位に菌の DNA が存在するかを調べた。頸動脈狭窄症と歯周病の関係が研究されており頸動脈動脈硬化部位から歯周病原菌が検出されるか否かについては意見が分かれているのが現状である。本研究の目的は、頸動脈狭窄症の治療の為に頸動脈内膜剥離術を施行する患者から得られた頸動脈プラークサンプルについて歯周病原菌の存在を検証し、歯周病と頸動脈狭窄症の関係を検討した。結果は頸動脈プラーク中から歯周病原菌由来 DNA が検出され両疾患の関係性が示唆された。また、歯周病の進行に伴い頸部プラークからの検出菌種数が増加する結果から口腔内で増殖した歯周病原菌が頸部へ移動する可能性が考えられた。